

# 札幌市

日本最北の政令指定都市である札幌市は、日本で5番目の人口を擁し、北海道の政治、経済、文化の中心地です。

夏は湿度が低くさわやかで、梅雨や台風の影響が少なく、冬は年間5m近くの雪が降りますが、天候に左右されない地下鉄や、都心部には「地下歩行空間」などの地下通路があり、冬でも安心して移動できるほか、住宅は機密性や断熱性が高く、冬も暖かく過ごせます。

また、市内には、JR・地下鉄・市電・バスが走っており、空の玄関口・新千歳空港からもアクセスがよく、とても便利です。

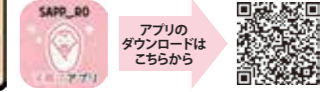


大通公園

このように、都市と自然が調和した街札幌では、ライフスタイルに合わせて、充実した暮らしを実現できます。

## アプリで楽しく!さっぽろの子育て

1. 妊娠～就学前の子育て情報を集約
2. 子育て日記帳で日々の成長を記録
3. 健診・予防接種でお知らせが届く



■学校基本データ		■基本データ	
大学 / 17	中学校 / 205	人口 / 1,973,331人	(2021年10月1日現在)
短大 / 7	幼稚園 / 108	面積 / 1,121.26km <sup>2</sup>	
専門 / 77	認定こども園 / 64	世帯数 / 977,768世帯	
高校 / 52	保育所 / 291	病院数 / 201	
中学校 / 107	中等教育学校 / 1	診療所数 / 1,427	

## 就職をサポート 「札幌Uターン就職センター」

東京圏にお住いの方は、「札幌Uターン就職センター」にぜひお越しください。キャリアカウンセラーが、就職相談だけでなく、住宅、子育て等の移住相談も行っています。オンラインの相談も可能です。



## コンパクトで人やさしい快適なまちづくり

地下鉄駅周辺などに、居住機能と商業機能、医療機能、行政機能等の生活を支える多様な都市機能の集積を進めており、円滑な移動や都市サービスを受受できるコンパクトなまちづくりを推進しています。



# 岩見沢市

北海道のほぼ中央、石狩平野の東端に位置する岩見沢市は、南空知の中心都市。札幌や新千歳空港から車で約1時間とほどよい近さで、早くから道内交通の要衝として発展。基幹産業は農業で、郊外には田園風景が広がり、のどかな雰囲気。一方、JR岩見沢駅を中心に市街地が形成され、ショッピングストアや飲食店、医療や福祉の施設など、生活に必要な機能がひと通り揃っています。

まちでは、遊び場や相談窓口、福祉などの各機関と連携した子育て支援の拠点として「こども子育てひろば『えみふる』」を設置。父親向けの親子イベントなども開催しています。また、空き家バンクや移住者向けの住宅購入支援助成金をはじめ、新規就農など仕事に関する支援も用意しているので、まずはお試し暮らしで住み心地をためてみてください。

## お試し暮らし体験

岩見沢市への移住に関心のある方に向けて、1週間から2か月の期間で市民と同様の生活を体験していただくため、お試し生活ができる住宅を提供しています。まずはお試し暮らしから、是非お気軽にご利用ください。(内容が変更となる場合があります。)



■学校基本データ		■基本データ	
大学 / 1	中学校 / 9	人口 / 78,319人	(2021年10月31日現在)
短大 / 0	小学校 / 14	面積 / 481.02km <sup>2</sup>	
専門 / 3	幼稚園 / 5	世帯数 / 41,329世帯	
高校 / 4	認定こども園 / 3	世帯数 / 8	
	保育所 / 25	診療所数 / 59	

岩見沢市HP 移住・定住

※2022年2月に岩見沢市HPの改訂作業を予定しているため、QRコードを読み込めない場合は、大変お手数をおかけしますが、「岩見沢市ホームページ 移住・定住」と検索いただきますようお願い申し上げます。



## 子育て世帯へのサポート

市街地には全天候型の「あそびの広場」、乳幼児健診等を実施する保健センターや子育ての相談窓口がある子育て支援センター等が隣接・併設しており、まちの子育ての拠点として利用されています。



## 新たなワインの産地として注目が

高まっている北海道の空知(そらち)地方美しい丘陵地帯が広がる郊外には、宝水(ほうすい)ワイナリーやTOR(トール)ワイナリー、栗澤ワイズなどのワイナリーが点在。丁寧に作られたワインの味にファンが増加。夏から秋にかけて展開しているワインツーリズム(ワインタクシー、ワインピクニック)がおすす。



岩見沢市企画財政部企画室

〒068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎ 0126-23-4111

# 小樽市

札幌市の西側に隣接する小樽市は、北海道開拓の玄関口として栄え、明治から昭和初期にかけての歴史的建造物が数多く現存し、情緒あふれる独特の街並みを形成しており、年間800万人が訪れる日本有数の観光都市です。東西に長い地形で、日本海に面し、三方が山に囲まれていることから海と山が近く、自然に恵まれた環境です。札幌市までは快速電車で32分と通勤圏で、市内バス路線も31路線と充実しており、病院やスーパーなど生活に必要な都市機能も揃っています。また、市場も複数あり、旬の海産物をはじめ新鮮な食材を手軽に購入することができます。

都会ではないけれど田舎過ぎない、歴史と文化が息づく小樽であらずし「暮らし」をしてみませんか。



小樽運河

## おいしい水と豊かな海の幸

豊かな自然環境の中で育まれた水を水道から味わえます。ニシンやシャコ、ウニに代表される海産物も豊富。旬なものを手頃にする市場では、対面販売で調理方法も教えてもらえるので初めての魚でもトライできますね。



## 散歩をしながら写真撮影

北海道最初の鉄道跡を整備した「旧国鉄手宮線」は季節によって表情を変える散策路。市内にはカメラ片手に散歩したくなるフォトジェニックなスポットがたくさんあります。お気に入りのスポットを探してみませんか。



## 海も山も両方楽しめます

海と山が近いので、気軽に海水浴やウィンタースポーツを満喫できます。スキー場まで車で30分以内なので、冬は仕事帰りのスノーボードが可能です。また、崖壁では年中釣りができるなど様々な楽しみ方があります。



# 江別市

札幌市に隣接する江別市は、JR札幌駅まで約19分の距離。札幌市のベッドタウンであり、利便性が良いので転入される方も多く、人口は道内7番目の都市となりました。

また、江別市は高校が5校、大学が4校ある「文教都市」でもあり、小学校1年生からの外国語教育や、小中学校全学級で電子黒板を活用するなど、教育環境が充実しています。

一方、江別市は豊かな自然に育まれた「農業」のまち。面積の4割が農地で、プロットリーの収穫量は全道一。身近に畑があるので、生産者の顔が見え、想いも伝わりやすい。○○さんのトマトを買いに直売所「○○さんの野菜を使ったレストランでランチ」といった「贅沢な生活」がここにありま。

## れんがが育む「やきものまち」

江別市は、北海道で唯一のれんがの産地です。北海道遺産に選ばれている「江別のれんが」は、歴史的建造物だけでなく、最新の建築にも使用されています。また、江別市は「やきもの」のまちでもあり、陶芸体験ができる施設もあります。



■学校基本データ		■基本データ	
大学 / 4	中学校 / 9	人口 / 119,777人	(2021年10月1日現在)
短大 / 1	小学校 / 17	面積 / 187.38km <sup>2</sup>	
専門 / 0	幼稚園 / 6	世帯数 / 59,100世帯	
高校 / 5	認定こども園 / 9	世帯数 / 6	
	保育所 / 24	診療所数 / 73	

## すぐ隣にある「おいしさ」

江別市は農産物が豊富。だから農産物直売所は市内に12か所。加えて身近なスーパーでも「江別産野菜」の表記を多く見かけます。おいしさが認められ、レストランのシェフが直接買い付けに来ることも多いんです。



江別市企画政策部政策推進課

〒067-8674 北海道江別市高砂町6番地  
☎ 011-381-1064 ☎ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/welcome/>

小樽市総務部企画政策室

〒047-8660 北海道小樽市花園2丁目12番1号  
☎ 0134-32-4111(内線273) ☎ <https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020120700626/>